

# 北海道 標津町

東京標津会 会長 水田栄子



## 北海道の未来を担う若者のために

北海道総合政策部政策局

総合教育担当局長 佐々木徹

標津町は、海、山、川、大平原が織りなす豊かな自然環境のもと、秋鮭・天然ホタテ漁やイクラなどを製造出荷する水産業と、広大な牧草地で約2万頭の乳牛により牛乳を出荷する酪農業を基幹産業とする「生産の町」です。

標津町のランドマークは「標津サーモン科学館」で、世界に生息しているサケの仲間18種30種類以上を展示しており、サケ科魚類展示数は国内で一番多い日本一のサケの水族館です。展望室では地上30mの高さから、知床連山や国後島など標津周辺の雄大な景色を見ることができます。

このほかにも、湿原性植物が花を咲かせる国指定天然記念物「標津湿原」、約

1万年の人類の足跡を刻む国指定史跡伊豆仁カリカリウス遺跡を有する「ポー川史跡自然公園」など



サーモン科学館

標津三大イベントである「標津町民祭り」「冬祭り」、「しふ」と「見どころ」もあります。

また本年3月には、作曲家として数々の名曲を手がけられ、五木ひろしさん、石川ゆりさん、都はるみさんなど、名だたる歌手に名曲を提供した日本歌謡界の大御所である、東京都在住の作曲家・歌手の岡千秋さんが標準津町観光大使の第1号として就任されました。

中標津町に移住した作曲家の故・牧野昭一

語ってくださつたところで、これを機に、自然環境も食べ物も素晴らしい標津が広く全国に発信されることを期待しております。



ポー川湿原

## 我がまち滝川市と東京滝川会のご紹介

東京滝川会 副会長 栗原茂実



我がまち滝川市は石狩川と空知川に挟まれた平野部に広がる、人口4万2000人ほどの中空知地域の中心都市です。札幌と旭川のほぼ中間点に位置します。

最近の滝川市の紹介です。まずは作付面積日本一の菜の花畠。5月下旬から6月上旬にかけて黄色いじゅうたんが広がります。最近は、道内外から多くの観光客が来ています。また、味付けジンギスカン発祥の地。最近は都内にも3店出店（松尾ジンギスカン）、是非行ってみてください。

他に、米、ハルユタカ小麦、りんご、玉葱

（滝玉）等も昔から有名です。スーパーで滝川産の農産物を見かけましたら買って食べてみてください。

また、日本初の航空公園ではグライダーの搭乗体験やスカイスポーツが楽しめます。他にもヨットやカヌー体験ができる施設もあります。

こんな素晴らしいふるさとを持ち関東で頑張っている仲間で平成5年に東京滝川会を立ち上げ今日に至りました。会員数は、約230名で減少気味ですが役員会で会員

拡大に知恵を絞っているところです。

活動については総会を毎年10月下旬に開催。会員間の親睦を深めています。また、年に2回東京滝川会だよりを発行。会員や滝川市等の情報、ふるさとの物産の斡旋もおこなっています。また、会員間の親睦を深めるため家族ジンギスカン大会等いろいろ企画を検討中です。北海道ふるさと会連合会の皆様のご指導宜しくお願ひ致します。

最後に滝川市内にある『そらぶちキッズキャンプ』をご存知でしょうか？難病の子供達にキャンプの楽しさを経験してもらおうと丸加高原にアジアで初の施設として、2012年より正式に受け入れています。2013年には、国際的キャンプ団体シリアルファンチルドレンズネットワークに認定されました。滝川市はこんなに優しいまちです。